



調圧水槽内の様子

続いて近年の気象状況を見てみると、下妻市は、平成27年9月発生の「関東・東北豪雨」、令和元年10月発生の「台風19号」で、多大な被害を受けました。また、全国各地で線状降水帯や短期的豪雨が頻りに発生しています。線状降水帯の発生頻度は、ここ45年間で2.2倍に増えていると言われています。

5月27日(月)、28日(火)に、首都圏外郭放水路(埼玉県)、諏訪峡及び道の駅川場田園プラザ(群馬県)にて全体研修を実施しました。本稿では、首都圏外郭放水路での研修を通じて、水害の対策と心構えについて考えたいと思います。

自治区長連合会副会長 笠島昇治

「首都圏外郭放水路」研修と水害対策について

自治区連会報

第63号

編集発行人
下妻市自治区長連合会
広報編集委員会

今回の研修や近年の気象状況を踏まえ、改めて、身の回りの水害対策について考えてみました。下妻市には首都圏外郭放水路のような設備がありませんので、日頃から防災対策を講じることが重要です。水害災害に備えるため、次のことを皆様もお考えください。

- ①災害時は電話回線がパンクし連絡がとれなくなるため、家族会議で家族の連絡方法を決める。
- ②下妻市洪水ハザードマップ(小貝川版・鬼怒川版)を確認し、色分けのない避難所・場所を定め、安全に行けるルートを決め、実際に歩いてみる。
- ③非常持ち出し袋(飲料水、非常食、携帯ラジオ、懐中電灯、マスク、タオル、洗面用具、小銭、保険証・免許証などのコピー、軍手他)を準備しておく。
- ④マイタイムラインを作成し、避難する時期(警戒レベル3:高齢者等避難、警戒レベル4:避難指示)を定め、逃げ遅れをなくす。

自分の身は自分の努力で守り(自助)、近所・地域の人がお互いに協力する(共助)。行政、消防、自衛隊の救助・援助等(公助)にのみ期待するのではなく、日頃から防災に対する意識を高め、身近な水害対策を実行しましょう。ひとりひとりの防災対策が地域防災力の底上げに繋がると思っています。

自治会活動に参加しましょう！

令和6年度 自治区長連合会理事名簿

| 役職名 | 氏名 | 代表区 | 支部名 |
|-----|-------|---------|-----------|
| 会長 | 栗野新也 | 福代地・神明 | 騰波ノ江(支部長) |
| 副会長 | 吉川寛通 | 長塚西部 | 下妻(支部長) |
| 〃 | 本橋勇夫 | 桐ヶ瀬 | 上妻(支部長) |
| 〃 | 笠島昇治 | 原 | 高道祖(支部長) |
| 〃 | 中久喜一之 | 蚕飼 | 千代川(支部長) |
| 幹事 | 横瀬靖彦 | 横根 | 大宝(支部長) |
| 〃 | 寺田光浩 | 松岡 | 総上(支部長) |
| 〃 | 國府田勝雄 | 加養 | 豊加美(支部長) |
| 〃 | 内山勇 | 大町 | 下妻 |
| 〃 | 外山一夫 | 大木 | 上妻 |
| 〃 | 小貫幸夫 | 宗道 | 千代川 |
| 会計 | 平塚昌利 | 本城町 | 下妻 |
| 〃 | 市川富朗 | 四ヶ村 | 千代川 |
| 監事 | 遠藤豊 | 上宿 | 下妻 |
| 〃 | 鈴木泰夫 | 坂井 | 大宝 |
| 〃 | 浅野信之 | 鎌庭 | 千代川 |
| 理事 | 鈴木登紀雄 | 陣屋・旭 | 下妻 |
| 〃 | 山本誠 | 西町 | 下妻 |
| 〃 | 富岡博 | 新町・砂沼新田 | 下妻 |
| 〃 | 武田俊之 | 長塚中央 | 下妻 |
| 〃 | 山口秀雄 | 峰 | 下妻 |
| 〃 | 黒川隆 | 浦町 | 下妻 |
| 〃 | 澤部左敏 | 本宿 | 下妻 |
| 〃 | 山口則明 | 田町 | 下妻 |
| 〃 | 本橋孝夫 | 平川戸 | 大宝 |
| 〃 | 篠崎猛夫 | 福田 | 大宝 |
| 〃 | 初澤往男 | 若柳第二 | 騰波ノ江 |
| 〃 | 飯村純男 | 黒駒 | 上妻 |
| 〃 | 塚越基 | 半谷 | 上妻 |
| 〃 | 鳩貝雄 | 前河原 | 上妻 |
| 〃 | 安達健治 | 江 | 上妻 |
| 〃 | 野口清一 | 行田 | 総上 |
| 〃 | 飯塚和夫 | 柳原 | 豊加美 |
| 〃 | 平石文男 | 中台 | 高道祖 |
| 〃 | 飯田康之 | 原・羽子 | 千代川 |
| 〃 | 関口清夫 | 村岡 | 千代川 |
| 〃 | 中島嘉誠 | 皆葉西 | 千代川 |
| 〃 | 川端誠 | 本宗道 | 千代川 |
| 〃 | 古澤久男 | 別府新田 | 千代川 |
| 顧問 | 田崎光男 | | |

※幹事以下の役職は「地区順」「各支部からの選出名簿順」となっています。



自主防災組織を作りましょう！

茨城県自治会連合会総会・表彰

5月31日、守谷市において、茨城県自治会連合会第32回総会が開催されました。その中で、次の方が県連会長から表彰状を授与されました。おめでとうございます。

- 〇表彰 ※敬称略
(各市町村区長会等の正副会長で区長在職10年以上)
栗野新也 (下妻市自治区長連合会 会長・福代地・神明代表区長10年)
- 吉川寛通 (下妻市自治区長連合会 副会長・長塚西部代表区長・長塚4自治区長10年)

◆活動日誌◆

- ◆令和6年◆
- 1月25日 自治区連会報(第62号)発行
- 2月7日 県自治会連合会講演会
- 2月27日 正副会長会議
- 3月19日 理事会
- 4月26日 永年勤続者表彰式及び下妻市自治区長連合会総会
- 5月27、28日 全体研修 (於：埼玉春日部市・群馬みなみ町)
- 5月31日 県自治会連合会理事会・総会(於守谷市)
- 6月25日 役員会・広報編集委員会
- 8月25日 自治区連会報(第63号)発行
- 8月29日午後 市長との対話集会(下妻中学校区) ※予定
- 9月29日午前 市長との対話集会(東部中学校区) ※予定
- 10月6日午後 市長との対話集会(千代川中学校区) ※予定
- 11月 正副会長会議・役員会・広報編集委員会 ※予定

下妻市自治区長 永年勤続者表彰(続き)

- 笠島昇治 (原代表区長)
- 平石文男 (中台代表区長)
- 神郡好春 (桜塚代表区長)
- 中久喜一之 (蚕飼代表区長・大木自治区長)
- 市川富朗 (四ヶ村代表区長・見田西自治区長)
- 青柳素一 (小野子3自治区長)
- 斉藤愛夫 (新町4自治区長)
- 田中十九一 (長塚9自治区長)
- 坂入正一 (長塚10自治区長)
- 倉持榮一 (江下中宿自治区長)
- 塚田森之 (大木南自治区長)
- 飯塚修一 (柳原代表区長・柳原西自治区長)

編集後記

下妻市では、地域の高齢者を支えるために「地域包括支援センター」があり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、介護、医療、保険、福祉などの側面から支える包括的な支援サービス「地域包括ケアシステム」を目指しています。しかし、2050年には、下妻市内の10人に4人が高齢者になると予想されており、今後の高齢者増加の中で、市の職員だけで対応しきれないか不安に思っています。

私の自治会も「地域の高齢者は、地域で守る」という自助や共助が重要になると認識しています。病院に行くのにも苦労している高齢者のために、私の自治会では、地元の人を送迎し高齢者が安心して乗れるボランティアタクシートの導入を考えています。これからは、高齢者や地域の人々が安心して暮らせるように、住民同士の助け合いと環境づくりが重要になると考えています。

全に行けるルートを決め、実際に歩いてみる。

③非常持ち出し袋(飲料水、非常食、携帯ラジオ、懐中電灯、マスク、タオル、洗面用具、小銭、保険証・免許証などのコピー、軍手他)を準備しておく。

④マイタイムラインを作成し、避難する時期(警戒レベル3:高齢者等避難、警戒レベル4:避難指示)を定め、逃げ遅れをなくす。

自分の身は自分の努力で守り(自助)、近所・地域の人がお互いに協力する(共助)。行政、消防、自衛隊の救助・援助等(公助)にのみ期待するのではなく、日頃から防災に対する意識を高め、身近な水害対策を実行しましょう。ひとりひとりの防災対策が地域防災力の底上げに繋がると思っています。

4ページへ続く



創立150年高道祖小学校の歩み — 高道祖支部 —

明治5年8月 吉原稲之助が村民と相議し開校準備。
 明治7年6月 中台の常願寺の一部を借用し、開校。
 明治22年6月 高道祖尋常小学校を常願寺に設置。
 昭和22年4月 筑波郡高道祖村立高道祖小学校に改称。
 昭和29年6月 下妻市立高道祖小学校に改称。
 昭和39年 創立90周年記念校歌制定。
 昭和54年9月 新校舎引渡し。
 令和6年 創立150周年。

卒業生や在校生、教職員が築いてきた高道祖小学校を振り返り、創立150周年をお祝いしましょう。そしてこれからも高道祖小学校の歴史を皆さんで創りましょう。

実りある憩いの場 — 千代川支部 —

25年前の設置当初は何もない緑地でしたが、市に申請して遊具やベンチ、テーブルを設置しました。また、町内の人たちがビワの木の苗を持ち寄って植樹し、ベンチとテーブルの上には、キウイフルーツの棚を設置しました。今では、5月末の市民清掃デーに合わせてビワの実を、秋にはキウイフルーツを収穫しています。

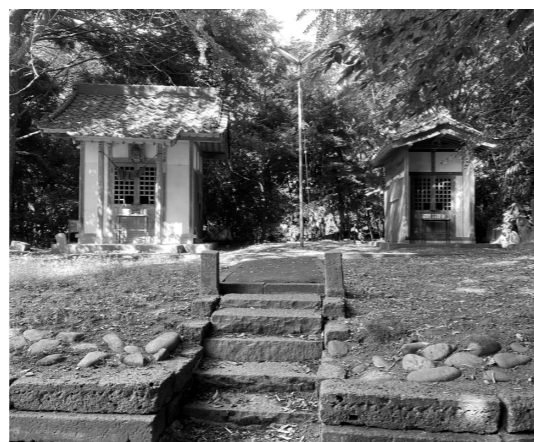
木々が作る木陰は夏祭りのとき休憩場所として利用されており、町内の皆さんの間で多くの話しが実ります。今後も本宗道の住民を繋ぐ憩いの場所として育てていきたいと思っています。



自主防災組織設立 — 下妻支部 —

上宿自治区では、令和6年5月1日に自主防災会を結成しました。当地区では、“災害は発生しない”という先入観が根強く残り、防災会結成は長年の懸案事項でした。しかし、近年の災害の発生に鑑み、“明日は我が身”という意識が高まり、この度、結成に至りました。

実際の被災の現場では、地域の助け合い（共助）が重要視されます。大切な命を守るため、人と人との繋がりを密にし、また、防災訓練を実施して地域の防災力を高めていきたいと思っています。



大宝共睦会 — 大宝支部 —

大宝八幡宮の北側にひっそりと建っているのが敵返不動尊と大宝十一面観世音です。敵返不動尊は一説には南北朝時代のものとも言われ、大宝十一面観世音は常陸三十三観音霊場の第26番札所でもあります。

この二つの御堂を昭和の中頃から管理しているのが、大宝共睦会です。お不動さんの縁日を迎える前の日曜日に三町内の役員さんが清掃をしています。

先人たちが残してくれた物を守り、後世に受け継いでいきたいと思っています。

自治会活動に参加しましょう！

数須集落の入り口の花壇 — 騰波ノ江支部 —

数須地区は28世帯の小さな集落ですが、道の駅しもつま南側の信号の花壇で当農村保全協議会メンバーがパンジー、コキア、ポーチュラカの植栽活動を行っています。信号で停まった人が花を見て、今日も安全運転で走りかかって頂けたら、と願っています。

近くにある十二所神社には、戦後70年に世界平和を願って7本の桜を記念植樹しました。残念ながら2本は枯れてしまいましたが、来年は戦後80年ですので、また植樹をし、桜の森にしたいと思います。

今年7月には、夏祭りを実施しました。以前のような賑やかな数須自治会になるよう期待しています。



赤須地区農村保全協議会 発足18年！ — 上妻支部 —

赤須地区は上妻地区の西にあり、近くに鬼怒川が流れ、61戸が協力して地区の活動を行っています。

当農村保全協議会は、発足18年になります。シンボリックな場所として、道路脇の大排水路のり面に紫陽花の定植区間(500m)があり毎年4～10月まで地区内2班に分けて、除草・美化活動を実施しています。今後も市の指導と地区内のご協力を頂きながら、農村環境保全のため活動してまいります。

また、本地区の「自主防災会」について総会にて賛同を頂き、4月に結成しました。

松岡囃子会から『ご近所付き合い』を — 総上支部 —

結成20周年を迎えた松岡お囃子会。『ご近所付き合い』という言葉聞く機会が少なくなってしまった昨今、お囃子会には小さな子供から年配者までが集まり、普段は話す機会が少ない方々とコミュニケーションが取れる素晴らしい場所となりました。

松岡地区には年代別に4つのグループがあり、各グループ多数の方々がお囃子会の会員になっているため、世代を超えたコミュニケーションが生まれ、情報共有がとてスムーズに行えています。

今後も地区の中心的集団として『ご近所付き合い』を後世に受け継いでいっていただきたいと強く思います。



自治区の側溝清掃 — 豊加美支部 —

東古沢では今年5月、数十年ぶりに、自治区内の側溝清掃を実施しました。かつては、住民自身で実施していましたが、今回は市の補助と住民の負担により、業者に依頼しました。

おかげで側溝内の流れがスムーズになり、大雨の際に雨水があふれることもなくなりましたし、悪臭や虫などの発生もなくなりました。加えて、専門的な立場から今後の管理等、いろいろアドバイスを頂きました。やはり畑沿いでは土の侵入が多く、蓋の隙間を塞ぐなどの方策が良いとのことでした。

みんなで情報共有し、今後役に立てていきたいです。

自主防災組織を作りましょう！